

令和6年度南三陸町議会6月会議 一般質問通告書

通告1番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 社会変革に伴う金融教育等の対応について伺う

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 成年年齢の引き下げや、先進欧米諸国との比較から国民の金融知識遅れに対する対策として高校での資産形成授業が始まっている。

については、こうした状況を鑑み、当町の以下の点について伺う。

- 1 高校での金融教育授業の必修化に対し、小中学校における金融教育の現状と今後の方向性について（質問相手：教育長）
- 2 成年年齢の引き下げに伴う金融契約のトラブル対応について（質問相手：町長）
- 3 子供や成人を問わず幅広い年齢層を対象とする金融経済教育の普及について（質問相手：町長）

2件目

質問事項 食料危機時に対応する農政の考え方について伺う

質問の相手 町長

質問の要旨 今国会審議中の「食料・農業・農村基本法」にかかる「食料供給困難事態対策法案」から想定される今後の農政のあり方について、以下の点を伺う。

- 1 当町における耕種別農業経営の現況について
- 2 当町の水田転作面積と復田可能面積等について
- 3 耕種別の経営指標から見る当町の農政の方向性について

通告2番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 化石を活用した、人を呼べる仕掛けづくりを

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 南三陸町全域で学術的価値の高い化石が採れることは周知の事実だが、それが教育旅行の誘致等へ連動していない現状が見受けられる。特に価値のある化石が見つかっている歌津地区へ、町外から人を呼ぶ仕掛けを作るべきと思うが、町、教育委員会の考えは。

- 1 魚竜化石を中心とした展示や保管の現在の状況は。（質問相手：教育長）
- 2 町内の児童生徒には、どのように情報発信をしているか。（質問相手：教育長）
- 3 化石ミュージアムのような施設整備は可能か。（質問相手：町長）
- 4 化石の発掘体験は当町ならではのコンテンツ。さらに体制を強化する考

えは。(質問相手:町長)

5 民間の団体ともっと連携し、人を呼ぶアイディアを考えては。(質問相手:町長・教育長)

2件目

質問事項 旧防災対策庁舎の今後は

質問の相手 町長

質問の要旨 5月24日に、旧防災対策庁舎のこれからを考える意見交換会が開催されたが、町有化したその先の未来へ、どのような意見があったか。また、町はその声に対してどのように応えていくのか。

3件目

質問事項 交通安全対策は

質問の相手 町長

質問の要旨 町内での交通死亡事故は長期に渡って発生していないが、近年、三陸縦貫自動車道での事故が多発している印象がある。町外だから、町の管轄ではないから別に良い、という類のものではないと考えるが、ハイシーズンを迎える前に啓発活動の充実など対策を講ずるべきと思うが、町の考えは。

通告3番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 中学校部活動の現状と課題について

質問の相手 教育長

質問の要旨 社会の加速度的な変化と同様、教育環境もその都度、変化している。町教育行政として、未来を担う子どもたちのために、柔軟に対応し尽力されている事に理解しているところではあるが、一方では、変化への対応に苦慮している場面もあるのではないかと推察する。

中学校部活動においては、令和7年度末を目指して、休日の部活動から段階的に地域移行すると示されていることから、これから部活動環境の在り方について伺う。

- 1 学校教育における部活動の意義と目的は。
- 2 地域移行の現状と課題は。
- 3 多様なニーズに合わせた部活動の在り方は。

2件目

質問事項 南三陸高校通学路について

質問の相手 町長

質問の要旨 昨年度、校名を変更し、創立100周年を迎えた南三陸高校であるが、県内公立高校として初めての全国募集やコミュニティースクールの設置など、多くの注目を集め、校内の雰囲気にも大きな変化が見られている。町としても魅力化構想に力を注ぎ、地域の学校としてこの先、大きく飛躍することを期待している。校内を訪れる視察などの来客も増加し、教員や生徒の通勤通学、送迎等

も含めれば、交通量は少なくない。

高校への多くの往来がある町道の現状は傷みがひどく、数多くの補修を行い維持管理されているが、良好な状態ではない。今後の町の対応を伺う。

通告4番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 2050年問題人口減対策が必須では

質問の相手 町長

質問の要旨 先の新聞・テレビ等の報道で人口減が「消滅可能性自治体」を生むというような発表があった。沿岸部・県北地方の市や町ほとんどが県内19市町の存続困難な自治体の中に数えられた。

わが町の第3次総合計画の中で将来人口が2045年には、6,858人と予測されているが、5年後の2050年には5,095人と推測されている。

これから若者に負担を少しでも少なくする施策を打ち出していかなくてはと思うが町長の考えを問う。

- 1 現在の18歳未満・若年層19~29歳代・30~60歳代・70歳以上、各年代の内訳は。
- 2 この町の若年層の成婚率を上げる工夫の施策は。
- 3 人口減少による空き家対策は。
- 4 復興住宅の空き室の人口減少対策への活用は。
- 5 総人口が減る中、多くの震災事業で建てられた公共物の維持管理は住民に負担が増大することなく運営ができるのか。

2件目

質問事項 町道及び護岸の管理について

質問の相手 町長

質問の要旨 先の7月豪雨において川底が下がり、道路護岸の基礎部分が浸食されていると思われる個所が見受けられる。また、町道法面においては、特に農家の皆さんが除草作業をしてきたが、高齢な方が多い現状である。そこで次の点について伺う。

- 1 護岸と道路の間に穴が空いたり、道路が沈下しているようなところが見受けられたが、その確認と対応は、また、原因是。
- 2 道路法面部分について町管理で除草すべきと思うが。

通告5番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

質問事項 交通ネットワークの充実

質問の相手 町長

質問の要旨 公共交通網の現状と今後の展開、充実について

- 1 デマンドバスの現状と今後の方向性は。
- 2 4月に法整備された「ライドシェア」の活用で、便利で使いやすい地域交通に。
- 3 BRT を活用したハブアンドスポーク型の地域交通の充実は。
- 4 気仙沼線の柳津から BRT を石巻へ直行させる必要性、実現への動き出しあ。
- 5 三陸道へのバス停設置の必要性、実現の可能性は。

通告 6 番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 スポーツツーリズムの展開について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 令和 6 年度施政方針の総括的質疑においてスポーツツーリズムにしっかりとアプローチしていく旨の表明が町長よりあった。観光は地方における重要な産業であるとともに自治体間の競争も激しいことから、今後持続的且つ町の活性化に繋がるスポーツツーリズムの展開について考えを伺う。

- 1 南三陸町ならではのスポーツツーリズムとは。(質問相手: 町長)
- 2 今後の促進、展開のためのハード面、ソフト面の施策は。(質問相手: 町長)
- 3 部活動の地域移行と総合型スポーツクラブの基盤整備は。(質問相手: 教育長)
- 4 町民に対する活動サポートや生涯スポーツ推進の考えは。(質問相手: 町長、教育長)

2 件目

質問事項 デマンド交通のこれからについて

質問の相手 町長

質問の要旨 昨年 11 月に歌津地区でもデマンド交通の運行が開始され、今後地域交通の重要な位置づけを担っていくと思うが、現状を踏まえて今後について伺う。

- 1 今後の新規路線導入の考え、予定は。
- 2 利用登録者以外の利活用促進の考えは。

3 件目

質問事項 地域産業振興のための基盤強化を

質問の相手 町長

質問の要旨 地域経済の不安定化は自然環境の変化に留まらず多岐にわたるリスク要因によって心配が尽きることがない。町として現況をどのように捉え、今後地域の産業を守り、振興していくための対策について考えを伺う。

- 1 地域産業へ影響のあるリスクやマイナス要因をどのように把握しているか。
- 2 対処療法的な制度助成だけでなく基盤強化を促す仕組みが必要では。

通告 7 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 町内の個人企業の現状と支援策について

質問の相手 町長

質問の要旨 震災から 13 年の月日が経ち、ほとんどの人が住宅再建されて安心した生活ができたことと思うが、町の経済が落込んでいる現状において以下の点について伺う。

- 1 建築、土木関係の仕事が減少している。この実態を町は把握しているのかどうか。
- 2 水産業も衰退傾向にあるが、町の底上げをどのように考えているのか。
- 3 商工会としてもこれらの個人企業に支援策をしていると思うが、商工会の現状を把握しているか。また、町は商工会に多額の補助金を出しているが、効果の分析と対応は。
- 4 町の未来を考えると不安だらけだが、今後の未来に向かって俯瞰的にどのような施策を考えているか。

2 件目

質問事項 町内の道路網整備等について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 1 歌津駅から吉野沢に通ずる道路（伊里前上団地）に交差する道路が急勾配で危険である。特に冬は凍ると停止できなく事故に繋がる。早期改修をすべきでは。（質問相手：町長）
2 同じ場所に下水管や水道管が埋設されているが、以前より常時水漏れがある。原因解明をすべきでは。（質問相手：町長）
3 その 3 差路に「伊里前上団地」の立て看板が無く、吉野沢団地まで行きすぎ戻る人が多くいる。是非、看板を設置すべきでは。（質問相手：町長）
4 トンネル内の路肩で自転車通学の児童が転倒した事故があり、片側だけ舗装されたが未だ片側は砂利道なので舗装にすべきでは。（質問相手：町長）
5 通学路と落沢線の関係を伺う。（質問相手：教育長）
6 稲渕の基盤整備内にある道路は、震災後自力再建で高台移転した方々が使用している。しかし、砂利道なのですぐ掘れてしまう。生活道路なので舗装改良すべきと思うが。（質問相手：町長）
7 有事の際、さんさん商店街の国道渋滞が妨げになり、避難が困難になる。対策を考えては。（質問相手：町長）

3 件目

質問事項 ヤングケアラーへのサポートについて

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 1 以前このことについて質問した時、教育長答弁は把握に努めているという答弁だったが、その後の状況と現在ヤングケアラーのお子さんがいるのかどうか状況を伺う。（質問相手：教育長）
2 町・地域など連携して対処しなければならないが、教育委員会と保健福

祉課は連携しているのか、また、どのようなサポート支援をしているのか
か伺う。（質問相手：町長、教育長）